

横浜赤レンガ倉庫で来館者向け新サービス実施

観光音声ガイドとプリントサービスで作る 自分だけの「思い出アルバム」



横浜を代表する観光スポット・横浜赤レンガ倉庫で、スマートフォンを使った新しいサービスを実施します。「音声ガイドアプリ」をダウンロードし、赤レンガ倉庫を訪問すると、歩いている場所に依じて「赤レンガ倉庫の歴史」や「創建時から残る歴史的な遺構」などの説明が自動的に音声で流れ、今まで知らなかった赤レンガ倉庫の情報を知ることができます。

またこのアプリと連携したサービスを使い、スマートフォンで撮影した写真でオリジナルの名前入りアルバム(赤レンガ思い出アルバム)を作ることができ、これは赤レンガ倉庫

1 号館 1 階受付の複合機で出力して受け取れます。

富士ゼロックスが提供するスマートフォン用音声ガイドアプリ「SkyDesk Media Trek(スカイデスク メディア トレック)」と外出先での印刷を支援するサービス「パブリックプリント」を組み合わせ、これまでにない新しいサービスとして、7 月 18 日(金)から 9 月 30 日(火)まで実証実験として実施いたします。

ぜひ今年の夏はこのサービスを利用し、赤レンガ倉庫をより深く知り、訪問の思い出を深めてください。

■ サービス概要 ■ ※添付資料もご参照ください。

提供／横浜赤レンガ倉庫 1 号館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

富士ゼロックス株式会社

協力／株式会社横浜赤レンガ

期間／平成 26 年 7 月 18 日(金)～9 月 30 日(火)

時間／午前 10 時から午後 7 時(出力サービスおよび特典クーポンの引換時間)

場所／【観光音声ガイド】 横浜赤レンガ倉庫および赤レンガパーク周辺

【出力サービス】 横浜赤レンガ倉庫 1 号館 1 階受付

料金／期間中は無料(実証実験として)

内容／【音声ガイド】 GPS連動。赤レンガ倉庫および周辺の 20 ポイント(例:明治時代から残る石畳、日本初の荷物用エレベーター、鉄道レールなど)の解説を音声で提供。ダウンロード画面の提示で赤レンガ倉庫のショップ・レストランで使用できるクーポンを差し上げます。

【編集アプリ】 スマートフォン撮影した写真を簡単な操作で編集します。

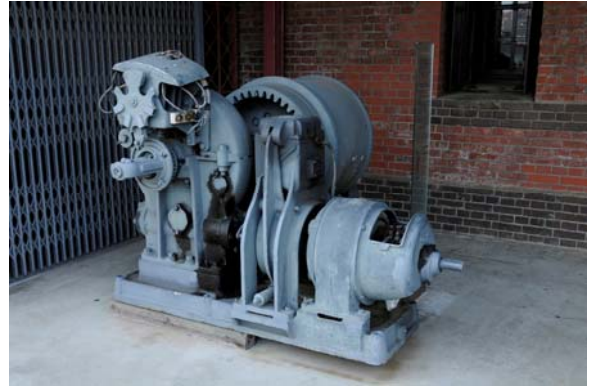
【出力】 受付の複合機(パブリックプリント)で、自分だけの「赤レンガ思い出アルバム」をプリントすることができます。アルバムには当日の日付やお名前も入ります。

9 月中は無料!

【横浜赤レンガ倉庫】

1号館は1913年、2号館は1911年に創建され、ともに100年の歴史を持つ横浜を代表する歴史的建造物であり、毎年600万人を超える来館者を迎える人気スポットです。1号館はホールやギャラリーを備えた文化施設、2号館はショップやレストランが揃った商業施設です。

創建当初は横浜税関の保税倉庫で、国の模範施設として当時最新鋭の技術を使って建設されました。横浜港の物流の中心として活躍するとともに、関東大震災被災、戦後のGHQ接收、港湾倉庫としての用途廃止など様々な出来事を経験します。その後、横浜市が国から取得し、横浜港のシンボルとして継承していくために保存・改修工事を行い、2002年に現在の横浜赤レンガ倉庫～「港の賑わいと文化を創造する空間」として再生しました。創建当時の部材などは現在も敷地内に保存展示され、各所で目にすることができます。



【関連事業】

7月25日(金)～27日(日)に開催する「夏の臨海学校2014」は、赤レンガ倉庫の百年前の瓦を使ったワークショップや元船長さんによる船の講座などアートと学びに関する全15プログラムで構成します。この中の「探検！赤レンガ倉庫&パーク」で、観光音声ガイドと「赤レンガ思い出アルバム」について詳しくご説明します。

「夏の臨海学校ホームページ」<http://akarenga.yafjp.org/natsu/>



撮影：森日出夫

※ この機会に広くご報道いただきたく、よろしくお願いたします。

お問い合わせ先	* 本日は19時まで在席しております。		
横浜赤レンガ倉庫1号館	館長	菅原 幸子	
	副館長	鈴木 敦	TEL : 045-211-1515